

歳時記のある暮らし

二〇二五年

《十二月》

底冷えが進む師走のころとなりました。

皆様、健やかに過ごしてでしょうか。

いつも『神秘の健康力』をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

冬の訪れと年の瀬の気配が交錯し、静けさと華やきが共に息づく季節、暦の上では七日に「大雪(たいせつ)」を迎え、地域によっては山々が雪化粧をまとい始めます。七十二候では「閉塞成冬(そらさむくふゆとなる)」の時期に入り、木々の葉はすっかり落ち、空気の中に冷気が漂い始めます。

しんと雪ふる夜は物おもふ人のこころに 音なくしみて

作者不明

十二月の長い夜にしんと降り積もる雪。その静けさが人々の心に内省のひとつときをもたらし様子を美しく描いています。

近年は地球温暖化の影、郷音もあり、「エルニーニョ現象」によって暖冬となることもあつて、実際の気温や現象と暦とのあいだにズレが生じていることが、科学的にも確認されています。それでもなお、ここでは暦の趣を楽しむために、その月ごとの情景を風物詩として味わってまいりたいと存じます。

自然界は天地がひっそりと冬の眠りに入りますが、人の営みは過ぎゆく一年への感謝と、新たな年への希望が交錯する慌ただしくも心あたたまる時期です。十三日には「正月事始め」を迎え、年の瀬の支度が本格化します。門松やしめ飾りの準備、大掃除や煤払いを通して、心と暮らしを清め整える日々が始まります。

煤払ふ 天井高き 庫裏の影

作者不明

年末恒例の大掃除。煤を払うという行為に、清らかさや厳かさを感ぜさせる一句です。冬の光と影との対比もまた印象的です。

京都では、年末の風物詩「吉例顔見世興行」が南座で華やかに幕を開けます。鮮やかな緑の松に、金銀に輝く短冊を添えた「まねき看板」が掲げられ、劇場の

(裏へ続きます)

『神秘の健康力』

定期購入 30粒 2,700円(税込)～

商品の注文・変更をご希望の場合は、下記にお電話ください。

☎0120-63-2222

※おかけ間違いにご注意ください。

【営業時間】

9:00～18:00 (12/31～1/2は休日)



賑わいを願って看板に甚亭流という独特の書体で字画を隙間なく書き込むのが慣例です。そこに並ぶ役者名や演目に心を躍らせながら、京都の人々は忙しい師走の合間に品格と熱気に満ちた古典芸能のひとつを楽しまします。

東寺では、年の瀬の「終い弘法」が開かれ、仏具や骨董、食材を求め人々が集うなか、静かに一年を締めくくる空気が漂います。

街のあちこちに赤いホインセチアが飾られ、イルミネーションとともにクリスマス訪れを彩るころ、七十二候は「熊執虫穴へくまあなにこもる」から「麋角解さわかつのおつる」へと移り変わっていきます。動物たちは冬ごもりの準備を始め自然界も深い眠りへと向かいます。静けさのなか、澄み切った冬の空に星の光がいつそう際立ちます。冴え冴えと輝く冬の星々。東の空に姿を現すのは、冬の主役のオリオン座。三つ並んだ星を中心に、赤く輝くベテルギウス、青白く冴えろりケル。その勇ましい次女は、冬の星座の中でもひとときわ印象的です。その傍らには忠実な猟犬たち、おいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン。

シリウスは夜空で最も明るく白い光を放ち、プロキオンはやや控えめながら確かな存在感を示します。この三つの星、ベテルギウス、シリウス、プロキオンが描く「冬の大三角」は、冬の夜空を象徴する星景色で、それぞれの光が紡ぐ物語は見る人の心を揺さぶります。年の瀬もいよいよ押し迫り、仕事納めや帰省、年越しの準備に追われるなか、やかに大晦日を迎えます。一年の労をねぎらい、無病息災と長寿を願って年越しそばを食します。除夜の鐘が荘厳に響き渡り、各地ではベートーヴェンの「第九」が演奏され、祈りと歓喜の歌声が今年の終わりを飾りながら、新たな幕開けへとつながってゆきます。冷え込んでまいりますので、風邪やインフルエンザにお気を付けてください。

健康対策には『神秘の健康力』商品のご注文やご変更などございましたら、いつでも（0120・63・2222）までご連絡ください。

皆様にとりまして、来る年が幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

金氏高麗人参株式会社

おもてなし係お手紙担当 久郷直子

